

ROOFTILES.

The Historical Pieces of The KALEIDOSCOPE
— Society, Community and the Human-mind —

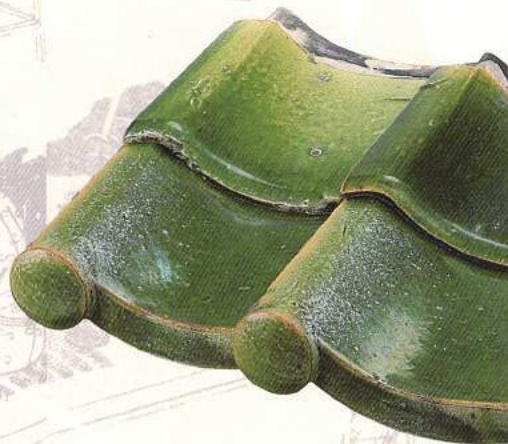
企画展



瓦 の 華 鏡

かわらまんげきよう

社会、地域、心をつなぐ



2017年4月15日[土]—6月25日[日]

会場 本館 第1展示室・第2展示室
主催 愛知県陶磁美術館、中日新聞社
後援 愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社(リニモ)
開館時間 午前9時30分から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)
ただし、4月15日(土)は開会式のため、観覧は午前11時より
休館日 毎週月曜日



愛知県陶磁美術館
セラミウム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

〒489-0965 愛知県瀬戸市青山口町234
TEL:0561-84-7474 FAX:0561-84-4932 <http://www.pref.aichi.jp/youji>

(左上から) 瓦瓦「菊」彫盛 初代泉源(神谷春義) 昭和12年(1937) 個人蔵/鉄袖三葉英文銅板瓦 名古屋城三の丸講読 江戸時代(18世紀) 名古屋市教育委員会(名古屋博物館写真提供)/金箔桐文鬼瓦 清須城跡出土 安土桃山時代(16世紀) 清州市教育委員会(愛知県史編さん室写真提供) (右上から) 愛知県指定文化財 鬼面文鬼瓦 尾道国分寺跡 奈良時代(8世紀) 妙興寺(愛知県史編さん室写真提供)/縁袖軒枝瓦・枝瓦 瀬戸 加藤治 昭和27年(1952)頃 愛知県陶磁美術館(伊藤重子氏寄贈)/扇部家住宅「井桁瓦」鬼瓦 永受主兵衛 江戸時代末期(井桁屋創業は寛政2年(1790)) 個人蔵 (開館日標: 左から) 高井六井園華文料瓦 北野庵寺跡 飛鳥時代(7世紀) 岡崎市美術館(愛知県史編さん室写真提供)/素弁八井園華文料瓦 尾張元興寺跡 鳥島時代(7世紀) 名古屋市教育委員会(愛知県史編さん室写真提供) (中央)「江戸名所図会」より 江戸時代(19世紀) 西尾市若瀬文庫

割引引換券 100円割引

一般: 600円→500円 高校・大学生500円→400円 ※中学生以下無料
※本券1枚につき1名、上記割引料金でご覧いただけます。他割引との併用はできません。

割引引換券 100円割引

一般: 600円→500円 高校・大学生500円→400円 ※中学生以下無料
※本券1枚につき1名、上記割引料金でご覧いただけます。他割引との併用はできません。

割引引換券 100円割引

一般: 600円→500円 高校・大学生500円→400円 ※中学生以下無料
※本券1枚につき1名、上記割引料金でご覧いただけます。他割引との併用はできません。

ROOFTILES,

The Historical Pieces of The KALEIDOSCOPE
— Society, Community and the Human-mind —

企画展

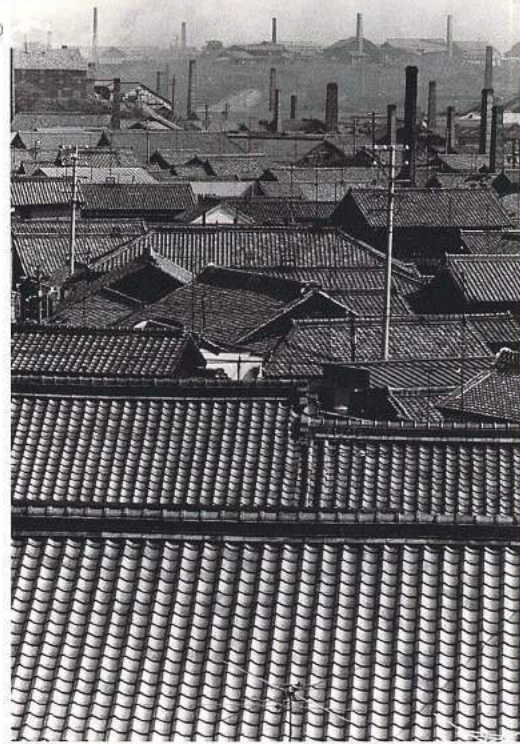
かわらまんげきょう

瓦万華鏡

～社会、地域、心をつなぐ～



②



瓦は、屋根を守り・飾るための建材として古代から現代まで使われてきたやきものです。飛鳥時代に朝鮮半島から仏教とともに伝わった後、寺院・城郭建築等、当時の宗教・政治権力と強く結びつく形で発達してきました。江戸時代後半以降には、耐火性に優れた建材であることから城下町や宿場町等でも使われるようになり、近現代を通じて各地の自然・社会環境の変化に呼応しながら全国に広く普及しました。

瓦葺建築は社会や地域と深くかかわり合い、今も昔もランドマークとして人々の心の拠り所となる存在です。瓦は人々の暮らしに呼応しながら様々に変化し、「時代を映し出す鏡」としての魅力を持ち備えています。

本展では、地元愛知を中心に、瓦の魅力について歴史的な実物資料と写真資料等を交えながら紹介します。

観覧料：一般600円(480円)／高校・大学生500円(400円)／中学生以下無料

＊()内は20名以上の団体料金です。

＊割引制度(各割引制度の併用はできません)

リニモ「藤が丘」/「愛・地球博記念公園」/「陶磁資料館南」/「八草」各駅に設置の割引チラシ(リニモ利用者に限る)／リニモ「一日乗車券」／名古屋市内交通局「一日乗車券」及び「ドニチエコきっぷ」/モリコロパーク駐車場再入場券/名都美術館有料観覧券の半券(2ヶ月以内)を持参の方は観覧料が2割引となります。＊チラシ等の割引換券またはJAF会員証、「ミュージアムぐるっとパス・関西2017」掲載の割引券、「愛知ふるさと大使」の名刺を持参の方は観覧料が100円引となります。＊身体等に障がいのある方及び付添者は手帳を受付にて呈示されますと割引制度が適用されます(割引要件あり、詳しくは公式WEBサイトを御覧ください)。

① 立沢瀧文軒丸瓦 岡崎城跡 江戸時代(18世紀) 岡崎市教育委員会
② 瓦のある風景「常滑」 山田栢二 1963年 INAXライブミュージアム
③ 柴井六井蓮華文軒丸瓦 北野庵寺跡 飛鳥時代(7世紀) 岡崎市美術館(愛知県史編さん室写真提供)／④ 宝相華唐文軒平瓦 猿投 八事裏山窯 平安時代末期～鎌倉時代初期(12世紀) 荒木集成館
⑤ 瀧戸家住宅 車寄降棟鬼瓦 山本吉兵衛 明治20年(1887)頃～大正時代 公益財団法人瀧戸財団



■関連事業

(1) 講演会「愛知の古代・中世瓦の歴史と魅力」

日時/平成29年6月10日(土) 午後1時30分から3時まで
講師/梶原義実氏(名古屋大学大学院文学研究科 准教授)
場所/本館地下1階 講堂
参加無料、申込不要

(2) ワークショップ「三州瓦の“わざ”にふれる」

日時/平成29年4月22日(土) 午後1時から3時まで
講師/三州鬼瓦製造組合
場所/本館1階 展示説明室
見学無料、申込不要

(3) 街歩き「発見! 東海道、有松の町並みと瓦」

日時/平成29年5月14日(日) 午前10時から正午まで
講師/服部 豊氏(有松まちづくりの会 会長・NPO法人全国町並み保存連盟 顧問)
場所/名古屋市緑区有松地区
参加無料、要申込(定員20名)

(4) みんなも参加! 「瓦のあるとっておきの風景」写真展

皆さんが撮影した「瓦のある風景」を展示室内で紹介する、参加型の企画です。

(5) 担当学芸員による展示解説

日時/5月3日(水・祝)、5月21日(日)、6月3日(土)、6月25日(日)
いずれも、午後1時30分から1時間程度
参加無料(本展観覧券が必要)、申込不要

※内容、申込方法等の詳細は、当館公式WEBサイトを御覧ください。



期間中開催の展覧会

■瀬戸市美術館

せとものフェスタ2017、瀬戸市美術館特別展
「瀬戸焼千年の歩み～瀬戸焼の黎明と発展～」
せとものフェスタ2017、瀬戸市美術館特別展
第2回瀬戸・藤四郎トリエンナーレグランプリ
受賞者展「加藤秀徳展」
(2展同時開催になります)
平成29年4月15日(土)～5月28日(日)
瀬戸市美術館企画展
「曜変・長江惣吉展」
平成29年6月3日(土)～7月30日(日)

■瀬戸蔵ミュージアム

「陶磁器作家 馬淵貞貞
—昭和初期の産業デザイナー—」
平成29年2月4日(土)～5月7日(日)
「新出土品展」
平成29年5月13日(土)～7月23日(日)

■新世紀工芸館

「加倉井秀昭 木越あい」
平成29年4月1日(土)～6月18日(日)

■瀬戸染付工芸館

企画展「飯碗・茶碗—瀬戸染付を中心に—」
平成29年4月1日(土)～6月26日(月)

期間中開催の「瓦」の展覧会

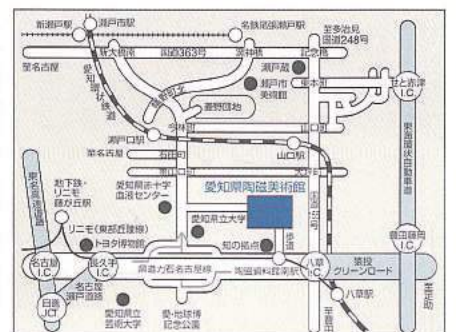
◎高浜市やきもの里 かわら美術館
企画展「三州鬼師の技—伝統と創造—」
平成29年4月15日(土)から6月25日(日)まで

次回の展覧会

特別企画展「今右衛門の色銅島展」 平成29年7月1日(土)～8月27日(日)

【アクセス】

●公共交通機関 地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m/名鉄瀬戸線終点「尾張瀬戸」駅下車。「瀬戸駅前」のりば1から各駅/「ス」登野岡地蔵由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・休日のみ)/愛知環状鉄道「八草」駅下車、リニモ「八草」から「藤が丘」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m
●自家用車(駐車場無料・250台収容) 東名高速道路「日進」IC経由、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から足助・瀬戸方面に約5km/東名高速道路「名古屋」IC・名二環道「本郷IC」から瀬戸・長久手・足助方面に約10km/東海環状自動車道「せと赤津IC」から約7km
●タクシー 地下鉄東山線・リニモ「藤が丘」駅から約20分/名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約15分



愛知県陶磁美術館
セラミアム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234
TEL:0561-84-7474 FAX:0561-84-4932
http://www.pref.aichi.jp/touji